



リュウマのガクセイ

THE REVOLUTION OF "RYUMA"

3

HIROKI HIFASHITA

宮下裕樹

YOUNG KING COMICS

だからリユウマが
へし折った

あ
よいしょ

だけど
やっぱり

変わらないいたら
変わらない

めざわりだから
へし折った



どおわ

な

!? 何事か





おいなんだよ
この値は!!

ただでさえ
ここまでのレートが
白昼の昼間値と
かぶって損してんだ

それは
そっちの言い分
だ...それに

悪いが...

いつもの半分
じゃねえか!!

ここまでの量の
落ちたアムラ
じゃ...王都じゃ
使いもんにならん

あんたん所の
土が降り出した
のは聞いてる

これ以上は
他所に行ってくれ

くつそ!!
足元が滑って

やめろ

ヴィスケーデなら
氣を配わず買って
くれるかもしれん
夜までに使つぞ

くそ
なんで

こんな...
いや...





働きも
しねえで









私達だって

エシジニアの
はしくれをわけよ

あの顔が
僕らはなくても
どういふ物やうに
わかるわ

そして
それが――

何を意味
しているのか……

世界のリヒツマ



リユウマ嫌い

「本面かよ
それ…」

親近じやあ
下手にも来る
だけでぶち込ま
れるってき…

どうりで
この所その手の
話が！

ああ

おそろく
あの壁が
折れた

あの時

きっと

リユウマは

死にしまったんだよ



その後も
一歩一歩の為に
祈ったんだか

カワサキや…
この映画だって
その影響だって…

みかどにきき

……

ううっ、今日も
冷え込みますね

こここの所
年々ですよ

そうだな
この地獄のたび

世界が壊れていく
そんな気がして
ならないな...

しかし
いいんですか

こんな寒道をも
はして...
白皮に...

ここは生息域から
ずいぶん離れてる
からな

え？













僕は……



もう
リュウマじゃ……

贈えない



あなたは
希望です

だから

生きて下さい

希望



リュウマを

死なせてはいけない



そうだ！
僕は……
死ぬわけには
いかない！



さした

そうだ

逃げた方がいいんだ



僕は

はは

僕は



生きて…

生きて…



ほうや

はや



大変だ
大変だ



大変だ
大変だ
大変だ

おろろ
おろろ





リュウマあ!!

負けないで!!

そうだ

今は僕が

リュウマだ





誰か!!
あの人と

一緒に



これは

リュウマの

物語



後に

最強の

妖刀使いと

うたわれる

リュウマの

物語



リュウマが
死んだ

七番の束脩は
途絶えたのだ

あの蛇を
斬った結果は
なんだ

我々は
見限られたのだ

正はもう
お歸りにならぬ

リュウマは

[第14話]

死んだのだ





やばいー困しなに
食いますかー！

しかも いきなり
断しく断いた
から

どうかしてた
僕でしたことが

どこの路の音とも
わからん女に

リウウマの影を
見るなんて

しかし…
あの怪力に…



あんだ達
今のであたしの
力はわかつたろ

おい女！
そのハンマーを
どこで…

これは
警告だ！！



！
なっ

ここは人の地で
あることも
わかつている
はずだ！！



白皮相手に
闘争なんて
正気か？

だからって
闘争無用
ってのは



好きじゃあない



でもね

だからって…
降りかかる火の粉を









西門からも
白皮があふれたのよ

もうパニック状態で
まともに逃避なんて
できてないわよ

せめて私達
だけでも…

こないでえ
あつないうてえ!!

はやく
乗り込んで!!

……まあ
なのか……

……
なんて
ことだ……

いや……



あたしは
リュウマの

嫁になる
女さ

な？
物欲し卒

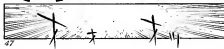
『まさか
あの刀は…』

今日は
二分咲きまで
とこか…

え

あー母親か？
まあどうやら
同じかー

まあ
そういう
ことだよ







王直属
特務遊撃隊

「ブンドー」













白虎の討伐を
おえるまでは
関東は二の次



彼らを倒にする
こととも関係ない



平段は置けない
現にバニタタも
治まりつつある



関東の目的は
白虎から王都を守る
その一点のみ



おれは
王都

犠牲に
あらずだ





知ってるぞ
貴公のこと――

本の間置図
その一冊が
王の間から出立する時

その中に貴公の
顔を見た

間違いない

隻腕のリニューマ

貴公を
捕縛させて
頂く

リニューマを名乗る
ベテン師として

本来なら僕も
貴様達のことを
言えないな

奴にでも
おさめるのが

正しいのかも
しれない

だが……
今は……

押しよめらばん

もろこ

自衛を優先し
多少の犠牲を
厭わないことも
わかる！

だが
このままじゃあ
街はほぼ
全滅だ！

それすらも
救済しないこと
かもしれないが

今ここには

僕と

あいつが
いる

強引にでも
大敵将を
押さえ込み

協力させれば

むなむな

大きな犠牲を
払うことも
ない！

わかってる
はずだ！

そうだな

それは
あんたも

王の命だ
殺すなよ

…はっ

アタバ！
大隊長の腰印着

鉄面皮の
二番隊長

悪いが
お前を相手に
している時間ば
ない！

さうだ
陣においで
僕をも破ると
いわれた方
その自信！









ミツハ軍いる
三番隊は

ただちに
逃走した白皮を
追跡 隠滅しろ!!

【第15話】

こんな
空襲前といえと
王都までの道人が
ひらいている

自然に数々の被害を
受けるかもしれないも
がずらん
心してかれ!

私は三番隊と
共にミズガルズに
帰郷する

仕方あるまい

里がご所望だと
いうのだから...

この



せい...
おれん

な...
おれん

[第15話]



ごめんわー！



みんなさ
ちゅーん……

何か
ごめんね
だわ！

あんなに
おどろいた
のよ！

ふざけんな

あの子に
おんなの娘が
あるのよ！



どうするのよ
もおお！！

こんな罪人
みたいな娘いで……

一傳 阿松問
誰がわてんのよ！！
どなたいくのよお！！

おめで
味方いけ

おい

おんなの
娘が……



あのままだと
どつちか
死んでたよ

白黒が流れているのに
もったいないかな
って



まさかあんなに
「老口」に
やられるとは





國王様が

鑑きあげた
千年王國



ちよっと
ここって!!

井井!



地盤の極大隆起により
出来た自然の物

その貴重な土地構造
から汚染の影響も
少なく



國王の統領の下
この地に政治 経済 武力
全てが集中された
奇跡の都市

そして



遠地特有の
雷は太陽の光を
防ぎ



燃やしたジオフロント
の光熱が莫大な
資源となり國を支え



未だに
一度も白皮の侵攻を
許したことのない

ヒトの最後の
砦



王都ミズガルス



お前らは
騙くな！

なう



そのベチン師
だけだ



出る

雙淵







当然だ

これはこの名を
守れなかった

悪い
なのだから

ひどいわっ…
もう見て
られない

ひどいよ

でもね

それが
リニウマだ

そうだ

それが
リニウマだ



全くもって

虫酸が走る





リュウマ











ずいぶんと
難作を描つきに
なったじゃないか



リムウマ



まあ……
知った神だ



手廻かに

段取りを
進めようじゃないか

きつても
言ったが――

お前が受けた
その世打ちも――

そして

ある種、期待の
裏返しなわけだ

王というのは
民衆の期待に
応えるもの

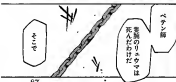
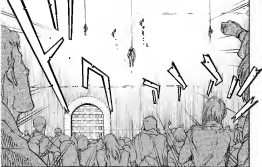
極めてな

罪に対しては

罰という
パフォーマンスが
必要――悪いが

付き合っ
てもらうぞ





今一度
機会を

与えてあげてや
ないか

安心しろ
あの男は
ただの悪人だ

男は善しである
誰もわがりはしない

何故……
関係のない
者を

殺した

さっきから
言っている

お前に
チヤンヌを
やるためだ……

命はお前のもので
それなりに
価値はある
つもりだ

蘭のジジイの
孫子として

早くしてくれた
お前を

自分がリュウマの
器でないことは
わかったであろう

いや

そもそも
リュウマなど
既首をコントロール
するために

ジジイが
送り出した
偶然にしか
すぎない

それがどうだ？

失敗 失敗を
繰り返す度に

ああやって
道端末を
しなければ
ならない

その度に
一喜一憂する民を
命がまた だめ
なくて はならない

ありがとうと
思わないかぬ？
ボクをやらさず
偶然なぞ！

だから

國主を
殺したのですかー

王よ

確かに一度は
試みたがね？

人間きが
悪い

今もって
健在だ
あのゴジイは

それも
お前次第では

リュウマの
名を捨て

ある

余に
忠誠を誓え





名乗れ

名はないよ

リュウマに
まつわる者は…
名を持ちほしない

リュウマと共に
いた頃としか…
王様 お気をよめる
ような者では…



言うでは
ないか

命が
びびって
おるだろ？



では聞こう

リュウマに何が
出来ると
いうのだ？



恒常的に続く
食料問題を
解決したか？

あふれかえる
難民を救ったか？

枯渴する遺民のために
ジオフロントを
切り拓いたか？

こんな時代でも
私利私欲にまみれた
民を黙殺しているのは
誰だ？

この国を
白皮の貴族から
守り続けているのは？
誰だ？

蘇のジジイ
金儲けだった
あの橋を折って
何が変わった？

この数年
状況は悪化する
ばかりよ

一休リユウマが
何をしたいというのだ？

答える!! 嫌



リュウマは





世界の民を
救った



そいへ

この国も
これから

救うよ
王様

第16話



もど



やっぱ王様と
なるとうまいもんが
いっぱいだ

ある所には
あるんだねえ



食べ物だけじゃ
ないわよ

なんて
キレイな街だ
なのかしら

街中に水が
あふれてる
わよ

本一

え

何
これ!!

何なの
これ

王様の
通った



[第16話]

ん？

対白皮の
恒久的拠点都市

千年王国の名は
伊達じゃあない







この国も
これから



あの娘には

本願……
年季を冷めし
たわよ……

救うよ
王様



娘

もう一度
言ってみろ

よせり
それ以上
設計はこれだ――

王!! その顔は
関係が――

王様だって

リムウが
敵でいなくなる

王!!

面白い

そのリムウとは
誰だ?

まさかその
小僧のことか

ああ……
それはまた

――そうか
ふふ……

うん――

命は強い女が
無いでは
ないのだが

わからないな

残念

よせ!!



















のわりには
ずいぶんと

きつたねえ所も
あるみたいだね



しばらく
見ないうちに
また出て
来たらな

アツム



おーい！

そこの
護衛の人！

護衛？



いや

王都でしょ
こんな所が
あるのね



王都
だからさ



スラムといえど
貴重な労働力
なのさ……

ジオフロントからの
資料確保のための――

それが王都

……でもこの環境って！
これじゃあ私達のいた
貧民街の方が
まだましな……

それでも
人は集まって
くるものさ――

大金を払ってでも
金持ちになりたい……

王都からだけは
守ってもらいたいのだ

夢の
ミズガルズ



おつと

ごめんよ



あつ

よつと



!!

後で
知るのは
この子だよ



だめだね

おれはもうおれ

……おれ……



こういのは
ちやんとお願
いしてもら
うんだ

なんで
リサと
関係したか

そうだ

しっかりと お仕置きが必要だ

そうだ

しっかりと お仕置きが必要だ

そのボウヤ
流して
もらおうか？

オレ様は なんと 機関委員長の 一員でな!!

悪事は 見逃さないんでね

オオフォ

オレ様は なんと 機関車汽笛の 一音でな!!

悪事は 見逃さないんでね

オオオオ



上...

だめだめ

あんたの親だとこの子 壊れそう

116

だめだね

あなたの親だと
この子
壊れそうだ

116

そうだよ!!
身体に即せ
込まねえとぞ!!



それが

黙って
もんだろ

ボケ



はっ!!
この右ウデで
オシ様は
次期……

アリオリ社
の真実か……

なんだ
てめえ!

フシドース様も
確定と…



その相手には
確定の真偽で
分辨する余地が
ある

気を
つけな

アハ



うてが!!
オし機
の
うてがああ!!

うてだも
機がうてん
だぞこれ!!

西原一の
ジャンク屋にいきな

まだ生きてれば
そのジジイが
助してくれる

おぼえてろ
ちくしょう!!

なんだ?





東洋
獅子にのるタイプ
なのかしら



やあ、あんた
獅子が頭下だと
えらく地味いいなと……



それにしても
スラムにまで
詳しいのね



僕は

このスラム
出身だからね



いふさき

ずっとと言いはえ
だった

それこそ



と置っても



うぬを助ける
頃には國王様は
始めて





兄ちゃんだって
盗ってたじゃんか!!

役に立ち
たかったん
だよ!!



こうでもしないと
盗らなくてはおい



いい目を見
てるのは
上の奴ばっか
じゃないか!!



よしな
さい!!

だって…



兄の替わりが
あなたと知ってたので



さつきは
すいません！
実は兄が
何かが手違いで



被害に
遭っていてかれて
まだ帰って来て
ないんです

それで





「おれは、おれは……」

「……おれは……」



「……人……
殺した……」



「……」



「……」



「……」



何處



裏切られた



何が



救世主だ

僕はリコウマを
聞き止めたかったのさ

魔王様の存在の
正体を知りた
かったのさ

あの時に...



何が
希望だ



僕はもう





どうしようもなく
ニヤヤから

リムウマになった
男を知ってるはずだよ



ガサマで

無神経

ゴリウみたいを
顔と体態



ゴリウマ



でも
誰よりも



強くて

盛しかった



あんたのことは
聞いている



あたしは

あんたに
会いに来たんだ



隻腕のリユウマ

僕は…

この時



はっけりこ

わかったんだ



……おれは……おれは……

おれは……おれは……おれは……

僕が











サル山の
ボスザル程度

だっつうの

[第17話]











その通り
だよ



異国の男

ヤツハ隠者

いや実の名で
呼ぶべきか



ボルドー



ふ……
まあいい
やしあこう
じやないか……



いや

はや

やけにあの妖刀に
熱をあげていると
思ってたが

まさか盗賊団が
リュウマのここに
隠してるとはね

立派な「子」が
あるというのに――

何を考えて
いるのやら――

なるほど

王に備のことを
聞いたのは

お前が――
うまく取り入った
ものだな

は

その
言い草

國王が健在なもの
私の口頭よがあってこそ
だと思わないか？

もちろん個性が
なかったとは思わないが
それでも

感傷されこそすれ
殺まれる懸念は
ないと思っがね



そして
この国も



ただ國王のように
生き残るものは
ごめんなのだと



王に婚約を
施した

何故か大々を
興わすまで



王の願いを

たとえそれが
死闘を要める事
になっても
しても



闘争はいいが
千年王国

古い体制

固まらるか



必要なのだよ
革新が



さあ

様かしの
城門だ





えらく奥前が
多いんだね

宮廷ってのは
そんなに物騒
なのかい？

皆誰と混われて
いるのはあんたこそ

用心にすぎないや
ないかな！

この大きい人が

大姫様さんだけでも
寛文に値いのに

あたしに
負けたのだって

位置とり
の…

黙れ!!











お連れ
しました

うむ



ああ……
そうだ

居住区の住人も
西側の一つと
言えるな！
第三区を開拓するのにも
考えないといかんか



しかし
そうすると
財源の問題が……

はい



やはり
夜雨の団地は
これか……

アインス
冷水長に
この資料を
渡してくれ

ターバスの領土の件だが
そろそろあの一事の
白黒が浮現化する時期だ

兵を少し
置いてやれ
泣いて悲みぞ

おそろしく対処は
ローガの報告で
あつてははずだ

ターバスの風かな
土曜を聞く
いい言葉にも
なるはずだ

はっ



炎風の真珠の
真珠に組み込んで
おけ



それとあれだ

ザンバルの
助陣ですか

さうだ
そろそろあつたたい
なんだかんだと
結局、命に取れ入り
たいのであつた



これ、
あの不気味な
動物！

はっ

と驚いた
とろろか



はっ
仰せの
ままに



持たせたな

ふむ



なかなか
似合っているでは
ないか

寒に入って
もらえ……

なかった
ようだな

まあいい
食事でしょう

アインス
下がっているぞ

下がれ

と
言っている

はい……

このお姫様を
悪い男と
引きもた







どこの奥の奥からも
付かかん道を
紀元というの味...



遠くまで...

まあ待て

最後まで
話を聞け

余の身体の
半分は...

腐っている

横道品なのだ
この半分は

この幸運と
同じでな

腐っている

横道品

子を
成さぬのだよ

余も
こやつかも

近親交配

天性遺伝

染色体異常

あらゆる
位置を占し
情報の上では
正解であつても

それとも
その他の
何かか……

この
情報源は

生に對する
本能が
抜け落ちて
しまつてゐるのだ

余の一族は
この國を造り

國を守り

國では
リュウマの名を
管理し

助力も義軍を
操作してきた

しかし

その秘の事を
守るために

神られ続け
してきた

その事を
絶対的なものと
するために

隠し

隠し

玉は血祭である
必要があった
秘め事を共有する
ために

愚かな国だ
秘儀のために
血は流り

秘儀を目撃
に……

肝心の
世継ぎが
いないのだ





お前の子宮が
欲しい



あらゆる女を
試したが

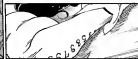


お前のような女は
いなかった





リュウマ
足り得るなら



聯合通訊社

● 2010年10月1日

しかし
大曲の
原典が

世

卷目...

その際、
町民の住に
関する

いづれに
あつた

晉陽府志



全滅……

しました……

[第18話]





でもよおー
はぐれもこのまま
出てこねえかも
しれねえだろ！

深追いして
何処しま
まったらー
それこそ

また
それか

そりや犠牲に
なつたり人にや
申し訳ねえが…

4人だ！
オレの女房は
逃げのびてるに
決まつてる

捕虜でも
ねえ！

すまねえ
「はぐれ強し」の
あんたの駒を
腐つてゐわけ
じやないんだ

ただ…
はぐれつてのは
ほつとせば前略と
いなくなるつて
きいて…

くら
くら

確かに風
標のはぐれは
母体から離れれば
一週間…長くても
10日程度しか
もちませんのう！

響ひ…

響ひ

だから王立軍
も助かん

だが「はぐれ」は
群れというタガが
はずれた分…

幸

幸

ただ、やみくもに
人を傷つけ
るだけの

化け物となる



うっ

うんうん

おい……
あの仏って

どうして
こんな――

はぐれに迷った
ってことか

そりゃあ……
食いまし、
あるってことは

確実はまだ
霊体を出てる

今晚にでもな

うわああ

ウツだ!!
かあちゃん!!









なんて野郎
だ！

人を人とも
思つてねえ

イカれ
てる！

なんて他所の奴
が脅迫してたか
きわかつたぜ

おい！
やめる

オレ達はそれ位
すぐ隠せなかつた

何だと！！

それをあの男は
半日で見つけた

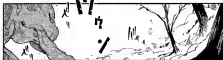
それに
あの男の今
居る場所

この中の
誰が

あの距離で
白夜と向きあえる
ってんだ？







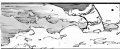
オレにかまわず
撃てえ!!!



うそ!!!



うそ!!!



!!



ちいっ















一体
何があった？

匂い消しの
こやしが焼いた
とさうだな……
よく焼焦った

ダメだ
まともに見せる
状態じゃない





うかがってました……





なんなんだ

これは？



女子供を
待っていやがった



白鳥

やばい



何かがっ

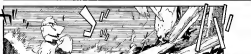
やばい



なんでこった！こいつ

最初にオレを

狙って
来やがった



こいつは

理を
超えている





ははは

はは

は

は

はは





どうか

この子達
だけは



助けて下さい



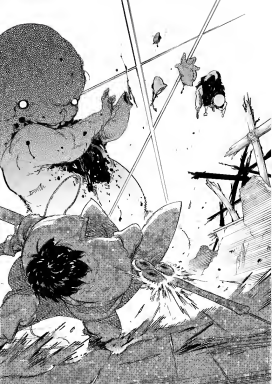
誰か...



リュウマ

様...







リムウマ様じゃ
なくて申し候
ないですが



リムウマ
様じゃあ
ないです



よもや



eBOOKで
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

電子書版

リュウマのガゴウ

3

宮下裕樹

© 宮下裕樹 / 少年画報社

Digital Distributor
eBook Initiative Japan Co.,Ltd.
<http://www.ebookjapan.jp>
